

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	細胞死を起点とした細胞外コミュニケーションの発動と生理機能
研究代表者	三浦 正幸（東京大学・大学院薬学系研究科・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本研究は、死細胞から発信される情報について、伝達分子の特定、分泌機構、細胞間相互作用を包括的に解析する研究である。細胞死研究分野を初期から牽引してきた国際的リーダーによる優れた提案であり、これまでの研究実績、研究の準備状況、独自性はいずれも世界的にみて高い水準にある。また、本研究は非典型的分泌という細胞生物学の未開拓課題にも新しい展開がもたらされる可能性がある。ショウジョウバエをモデルとした研究から普遍的な新概念の確立へとつながることが十分に期待され、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>